

## デンマーク研修レポート

2月27日(水)

スペシャル・インクルージョン

ペタゴーになるために

<第4日目のスケジュール>

8:30 バスでホテル出発

9:30 Pilehave O 特別支援学校(Pilehaveskolen) 到着

- ・校長先生による講義
- ・クラウス先生による説明と案内
- ・質疑応答

11:30 特別支援学校出発

12:20 University College Lillebælt(ペタゴー養成大学) 到着

- ・学食で昼食
- ・学長による講義

16:45 ホテル到着

17:45 バスで日欧文化学院へ

18:00 学院にて夕食

18:40 ホテル到着

第4日目の研修プログラムは、特別支援学校とペタゴー養成大学への訪問でした。

本日から2日間のガイドおよび翻訳の方は百代さんにバトンタッチ。

日欧文化学院の社会福祉コースの教員をされ、

ご自身も高齢者介護のペタゴーの方です。

特別支援学校に到着し、メタ校長先生とクラウス先生が迎えてくださいました。

例によってお茶を飲みながら、メタ校長による学校の概要説明の後、

クラウス先生に学内を案内していただきました。



Pilehave 特別支援学校には、6～18歳の知的障害、身体的障害、重複障害をもつ子どもや、何らかの問題を抱えている子どもたちが通っています。

朝8:00から13:30まで教育を受け、その後は学校が学童となるため、子どもたちは16:00ぐらいまで学内で過ごすそうです。

教員をはじめとする教員、ペタゴ、ペタゴヘルパー、理学療法士、作業療法士など、多様な専門家が学校で働いていました。

そして、こうした職員の方たちの指名や目的は、「この学校に通うすべての子どもたちがそれぞれのレベルでの成功を成し遂げることです。」とおっしゃっていました。

子どもたちの発達や特徴に合わせた学習支援はもちろんのこと、子どもの生きていく力、自立、自分の人生を成功させていくことへの支援を大事にしているそうです。



ほとんどの生徒さんが体育の授業で教室にはいませんでしたが、数人の生徒さんと会うことができました。

授業では iPad が導入されていました。

個別の進度が違うため、個々に合わせた教材を iPad 一つで準備できること、同じ教室内で個々が集中して自分の課題に取り組めることなど、種類や程度が様々で個別支援が必要な特別支援学校の授業では iPad が非常に有効だとおっしゃっていました。

また、教育庁が開発した数々のアプリケーションを無料でダウンロードできるため、コスト削減になるとのことでした。

特別支援学校に別れを告げ、次の訪問先である University College Lillebælt に向かいました。

University College Lillebælt は、ペタゴを養成する大学です。到着してすぐに、学生さんに混じりながら学食で昼食をとりました。



昼食後に、学長先生より大学の紹介やペタゴ養成の概要について説明していただきました。

ペタゴになるためのカリキュラムや理念など、大変興味深いお話を聞くことができました。



大学での講義を終え日欧文化学院で夕食をいただきました。  
日欧文化学院の学生さんはコースごとに修学旅行に出かけており、  
少ない学生さんたちと夕食を共にしました。

本日も1日無事終了。  
ホテルへ戻り最後の研修に備えました。

2月28日(木)

<第5日目のスケジュール>

- 9:00 バスでホテル出発
- 10:00 統合幼稚園幼稚園(0-6歳児)訪問
- 12:15 国民学校訪問
- 15:00 オーデンセ観光
  - ・アンデルセン博物館視察
  - ・自由行動
- 17:10 日欧文化学院
  - ・研修終了式
  - ・夕食
- 19:00 ホテル到着

研修第5日目の午前中は、

0-6歳の子どもたちが通う保育所を併設した幼稚園を訪問しました。

0-2歳11カ月までの子どもを対象とする保育所と、

3-5歳11カ月までの子どもを対象とする幼稚園が併設する統合幼稚園です。

デンマークでは、1日目の研修で訪問した保育ママがまだ浸透しており、

3歳になる前までの子どもたちが通う施設がまだ少ないようです。

保育所を増やすかどうかは、各コミュン(地方自治体)の方針で決まるそうです。

1日目に訪問した保育ママ宅の地域は、保育所設置ではなく保育ママを推進していました。

一方、今回訪問した地域では保育所の増設が決定し、

今後入所する子どものための部屋も準備されていました。







一通り見学した後、質疑応答の時間を設けていただきました。

保育所実習を終えたばかりの研修生が多かったため、  
自分の実習での体験との比較からの質問が多くありました。

「保育士の服装については自由なのか？」

「(17:00には全員帰ると聞いて)活動の準備や壁面の作成などはいつやるのか？」など、  
研修生らしい具体的な質問もありました。

こうした研修生との取りを通して、

園長先生が「日本という国に興味を持ったわ」とおっしゃっていました。



次の訪問先は、デンマークの国民学校(フォルクスクール)。

国民学校とは、デンマークの子どもたちが義務教育を受ける学校です。

初等教育と下級中等教育の一貫教育です。

デンマークの義務教育は9年間でしたが、現在は10年間です。

2003年からの大きな教育改革にともなって、

2009年8月から就学前教育1年間(0年生)が義務づけられました。

10年間の教育の後は、国民学校を卒業して職業校や大学進学を目的とした上級中等教育(高校)へ進む人たち、

任意で国民学校第10学年へ進級する人たちもいます。

もちろん、進学せずに就職する人たちもわずかながらいるようです。

校長先生と3人の生徒さんが学校の説明と学内の案内をしてくださいました。

ほとんどの授業は終わっていましたが、

大事な試験を控えている9年生の化学の授業や音楽の授業を少し見学させていただきました。



また、デンマークのすべての国民学校は学童となるため、ペタゴの方たちが学童の準備をしている様子も見学できました。

最後の質疑応答の時間では、デンマークの印象など、生徒の皆さんから研修生への質問もありました。

生徒さんの一人は、日本の漫画が好きで日本語を勉強しているとのことでした。



国民学校視察の後は、オーデンセの街の観光。  
全員でデンマーク人の童話作家で有名なアンデルセンの博物館へ行った後、  
各々の自由時間を過ごしました。





本日でコーディネートしていただいた4日間の研修が終了しました。  
全員が修了証書とデンマーク国旗のピンバッチをいただきました。



また、夕食にはなんと日本食が!?

日欧文化学院の学生さんは皆さん修学旅行でいなかったため、  
私たちのために、ご飯とお味噌汁を準備してくださいました。



明日は、ボーゲンセに別れを告げ、首都コペンハーゲンへ。  
研修もあと2日となりました。